

## 開催要綱

### 1. 大会趣旨

2025年には認知症の人が700万人を超え、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症に罹患すると言われて  
います。決定的な治療方法が見つからない中、介護職員の認知症ケアは専門性と多様なケアの質の高さが求めら  
れています。

画一的な認知症ケアから、認知症の疾患別対応を理解し、一人ひとりに沿った適切なケアをする事で、認知症  
の人のQOLを向上させる事が出来ます。しかし、人材不足の中、異職種から介護業界に就業される方が沢山いま  
すが、最初に戸惑い自信を喪失してしまうのは、認知症の様々なBPSDです。どのようなメカニズムからBPSDが出  
現するのか根拠を知る事で適切なケアの提供が出来、やりがいを感じる事ができます。そのことによって離職を防  
ぐことに繋がるのです。

大会テーマは、「みんなで考えよう新たな認知症ケア」～グループホームでのより良い生活を支えるために～  
です。本大会では講演や分科会を通して、認知症介護の素晴らしさとやりがいをもてる場になるようにしたいと思  
います。

### 2. 大会テーマ

「みんなで考えよう新たな認知症ケア」

～グループホームでのより良い生活を支えるために～

### 3. 会期

平成28年9月29日（木）～30日（金）の2日間

### 4. 会場及び所在地

大会会場：仙台市情報産業プラザ(アエル 5F 多目的ホール)

開催地住所：仙台市青葉区中央1丁目3番1号

TEL 022-724-1200 FAX 022-724-1210

### 5. 主催

東北ブロック認知症グループホーム連合会

特定非営利活動法人宮城県認知症グループホーム協議会

### 6. 後援（予定）

厚生労働省・宮城県・仙台市・日本認知症ケア学会・認知症の人と家族の会宮城県支部・八戸地区認知症グ  
ループホーム協議会・岩手県認知症高齢者グループホーム協会・秋田県認知症グループホーム連絡協議会・山形県  
認知症高齢者グループホーム連絡協議会・福島県認知症グループホーム協議会・全国グループホーム団体連合  
会・介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会・仙台市老人福祉施設協議会・仙台市地域包括支援  
センター連絡協議会・仙台介護サービスネットワーク・介護サービスネットワークみやぎ・宮城県社会福祉協議会・  
仙台市社会福祉協議会・宮城県介護研修センター・認知症介護研究・研修センター・みやぎ宅老連絡会・(財)仙  
台市健康福祉事業団・宮城県ケアマネージャー協会・宮城県介護福祉士会・河北新報社・読売新聞社・毎日新聞社  
仙台支局・朝日新聞社仙台総局・NHK仙台放送局・TBC東北放送・仙台放送・KHB東日本放送・順不同

## 7、参加人数

250名 (介護・医療従事者・介護家族・行政・地域包括支援センター・一般参加者)

## 8、参加費 3,000円 (会員・非会員)

## 9、大会概要 (予定) 主なスケジュール

9月29日 (木)

13:00 開会式 (厚労省・宮城県・仙台市臨席および挨拶)

13:30 講演1 「グループホームの未来」(仮)

厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室

14:30 実践報告 8事例 (東北圏内 GH事業所)

① 人材育成 ② 不適切ケア(適切ケアへの取り組み) ③ 疾患別の取り組み

16:30 講演2 「当事者の想いを知る」(仮)認知症当事者とのトークセッション

認知症研究・研修東京センター 永田 久美子先生

週間朝日

山本 朋史氏

17:30 終了

18:30 交流会

9月30日 (金)

9:30 講演3 「レビー小体型認知症の理解と適切なケア (仮)」

横浜市立大名誉教授 小阪憲司先生

11:30 閉会式

12:00 閉会

## 10、認知症ケア専門士 3単位

11

12、懇親会 場所 TKP ガーデンシティ 30F (アエル内)

時間 PM6:30~8:30

会費 5,000円(税込)

## 13、大会開催担当・問い合わせ先

実践報告委員会 委員長 楠本 学

連坊小路グループホームスカイ

仙台市若林区連坊小路 135 TEL 022-216-3750 fax 022-216-3751